

2023年度「集まれ！紀の国っ子忍者達」ボランティア参加者アンケート

〈 20名より回答(大学生18名、一般2名) 〉

■今回のボランティアをどのように知りましたか？

- ・大学が配布のチラシやポスターを見て…9人
- ・大学のゼミの先生からの紹介…8人
- ・親の紹介…1人
- ・知人・友人…2人

■今回の活動に参加した理由

- ・学校でチラシをみて、忍者ってどのようなことをするのか気になって、チラシがおもしろそうだったから。
(和歌山信愛大学1年)
- ・子どもが好きで、忍者になれると聞き楽しそうだと思ったからです。(和歌山信愛大学1年)
- ・子どもと半日、忍者修行をしてみて、元気さとやる気に圧倒されました。(和歌山信愛大学1年)
- ・学校でボランティアのポスターを見て子どもたちと一緒に忍者修行がしたいと思ったからです。子どもたちが楽しむ姿が見られると思い、参加させていただきました。(和歌山信愛大学1年)
- ・楽しそう、おもしろそうと思ったから。子どもと触れ合えると思ったから。(和歌山信愛大学1年)
- ・小学生と触れ合うことのできるボランティアだったから。(和歌山信愛大学1年)
- ・教員を目指していて、実際子どもとふれあい、関わり、接し方、考え方などを学びたいと思い、今回の活動に参加させていただきました。(和歌山信愛大学1年)
- ・ゼミの活動のひとつとして参加しました。(和歌山大学3年)
- ・ゼミの活動のため(和歌山大学3年)
- ・ゼミの教授から案内があり参加したため(和歌山大学3年)
- ・ゼミの活動で市駅周辺のまちづくりにたずさわっていて、GGPとかかわりのある「くすの木」の活動に興味を持っていたから。(和歌山大学3年)
- ・永瀬ゼミの一員としてGGPの活動に携わってきた中で、GGPの他の活動にも関心をもったから。
- ・GGPの活動の中で話を聞いて参加した。(和歌山大学3年)
- ・普段ゼミで活動拠点としている和歌山市駅周辺で行われるイベントと知り、参加させていただいた。
(和歌山大学3年)
- ・ゼミの先生からの紹介で参加させていただきました。ゼミ活動で市駅周辺で活動していたり、日常的に図書館を使うこともあり、いつも利用する空間でのボランティアということで、楽しみにしていました。
(和歌山大学3年)
- ・和歌山県内で行われているまちづくりイベントや地域おこし活動に興味があったため。(和歌山大学3年)
- ・忍者のボランティアと聞いて楽しそうだと感じ参加しました。(和歌山大学3年)
- ・親の紹介(桃山学院大学1年)
- ・和歌山市内で子どもクラブ、子ども会活動をしていて、とても興味があった。(一般ボランティア)
- ・昨年に続き、アフタフバーバンやGGPに少しでも賛同させていただきたかったのです。(一般ボランティア)

■参加されてみての満足度（不満足← ① ② ③ ④ ⑤ →とても満足）

①0人 ②0人 ③1人 ④2人 ⑤17人

■次回もこのような企画があれば参加したいですか？（①参加したい②参加したくない③どちらともいえない）

①17人 ②0人 ③3人

■忍者まちあそびプログラムに参加された感想をご自由にお書きください。

- ・子ども達と実際に一緒に考えたり、ミッションにいどんだり、本当に楽しめました。子どもたちの発想がゆたかで、私は小学校の先生を目指しているのでこのような機会をもうけてくれて、参加することが出来て本当に良い機会でした。とてもたのしかったです。（和歌山信愛大学1年）
- ・子どもたちは本当に無邪気で自分もいつのまにか子どもたちと一緒に楽しく忍者になっていました。初めはどうなるだろうと不安でしたが、子どもたちとコミュニケーションをしっかりとって任務を遂行できました。きたさんが遊び心が大切と言って本当にそうだと思います。いつまでもこの遊び心を忘れずに保育者になりたいと思いました。（和歌山信愛大学1年）
- ・自分も実際に子ども達と一緒に忍者になった気分になって楽しめてよかったです。（和歌山信愛大学1年）
- ・子どもたちの考える力、想像力など、色々な力を感じました。子どもたちが自分ですべて行い、考えるというところに意味があるんだと感じました。（和歌山信愛大学1年）
- ・子どもは私たちの何倍も元気なんだと思った。ボランティアのつもりで参加したけど、私たちも一緒に楽しめたので、ボランティアに参加している感じがしなかったです。（和歌山信愛大学1年）
- ・子どもたちはとても元気で、忍者のことをずっと信じて取り組んでいて素直でいいなと思いました。お互いでアドバイスをし合ったり、注意し合ったりしていて、みんなで1つのことを取り組む姿勢が素敵だなと思いました。子どもと触れ合うためには、遊び心が大切だということを知り、よい保育者になるために遊び心をもって接していきたいと感じました。（和歌山信愛大学1年）
- ・子ども達とふれあっているうちに、どこになにがあるのか一緒に共に考え動き、笑い、喜び、子どもの主体的で深い学びを実践することが出来たと言える。また、子ども達がそれぞれ共有し、答えが1つじゃなかった時、全員が全部やってみようと言い、子ども達同士でしっかり考え。動いているのを見て、素晴らしいと思った。今回の目的にあった、行動が出来ていたと考えた。（和歌山信愛大学1年）
- ・子どもと同じ目線で遊ぶのは久しぶりで、楽しかったです。様々な性格の子どもたちが1つの目標に向かって協力する姿を見ることができてうれしかったです。（和歌山大学3年生）
- ・私は小学3年生のクラスを担当し、子供達の発想力、元気の良さ、純粋さが非常に印象深いものであった。また、私自身も前日の活動では、遊びを通して、コミュニケーション力、発想力などの面で考えさせられることも多かった。子供達とのふれ合いはこれからの学習にとって非常に有意義なものであったと考察している。（和歌山大学3年生）
- ・久しぶりに子どもと接する機会でしたが、みんな元気で、私も何か分かりませんが元気をもらうことができました。忍者になった際も子どもと同じように、本当に自分自身が小学生に帰ったかのような感覚さえも味わえたように思います。ここで得た、常識にとられない「遊び心」をもって、今後の日常生活も過ごしたいです。（和歌山大学3年生）
- ・ボランティアとして参加したが、子どもと同じように童心にかえて楽しむことができた。外で遊ぶことが少なくなっていると言われている子どもたちが、みんなで集団になって楽しんでいる姿がほほえましかった。（和歌山大学3年生）

- ・2日間を通して、童心に返ることができた取り組みだった。普段の生活では「遊ぶ」ということがあまりできておらず、このような機会を通して体験できたのが貴重な経験になったと感じた。子どもたちとのコミュニケーションも非日常で、良い経験だった。(和歌山大学3年生)
- ・普段あまり子どもと接する機会がないので、どうしたらうまく交流できるか学べた。ただ、自分が内向的な思考をしているので関わり方が難しく、以上の結果にした。(和歌山大学3年生)
- ・最初は、子供たちになじめるか不安でしたが、前日のワークショップのおかげで、自分自身がイベントに対してポジティブに捉えることができたので、1日楽しくすごすことができました。まちがってもいい、自分の意見を伝えるという当たり前のことを、大人へステップするにつれて、忘れがちだったので、自分のことも改めてみつめることのできる良い機会になりました。(和歌山大学3年生)
- ・今まで参加したボランティアは、子ども達を先導する、規制する役割が多かったですが、今日の忍者まちあそびプログラムでは、子どもたちと一緒に童心に帰って思い切り楽しめました。子どもたちの想像力や発想力に沢山おどろかされました。とても良い経験でした。ありがとうございました。(和歌山大学3年生)
- ・子供たちにはいつどのような場所でも遊び回れるエネルギーがあり、そのような場所を提供すればどこでも遊び場になることが分かった。子供たちにとって自由に遊び回れる場所が少なすぎるのかもしれない。便利さを求めるまちも良いが、息苦しさをなくした自由さがあっても良さそうだと感じた。(和歌山大学3年生)
- ・ボランティアと聞くと、子ども達を見守るものだというイメージが強かったけど、今回のボランティアは、子どもと一緒に考え、挑戦し、楽しむという‘一緒に‘を強く感じました。忍者になりきり、歩いたり、隠れたり、図書館という場所が図書館であり図書館ではない場所になったのも感じました。わくわくとした童心に戻った気持ちになりました。(和歌山大学4年生)
- ・将来、教師になるつもりなので、こういった子どもたちと関わることはとても重要だと感じた。

(桃山学院大学1年生)

- ・子供達とグループを作り、一緒に考えたり活動し、とても楽しかった。先走って一人で行動しようとする子もいたが、最後はなんとかうまくいきました。子供達にも良い経験になったと思う。(一般ボランティア)
- ・全く初めましての大学生の皆さんや児童たち、又地域の方々とフランクに話が出来ること、指令に心ひとつにして仲間意識がめばえたことに感動した。又来年も開催を希望致します。本日はありがとうございました。

(一般ボランティア)